

▶ 第6章

米中分断下での日本のバリューチェーン —— 「多様なつながり」へ3つの提言

早稲田大学 教授

戸堂 康之

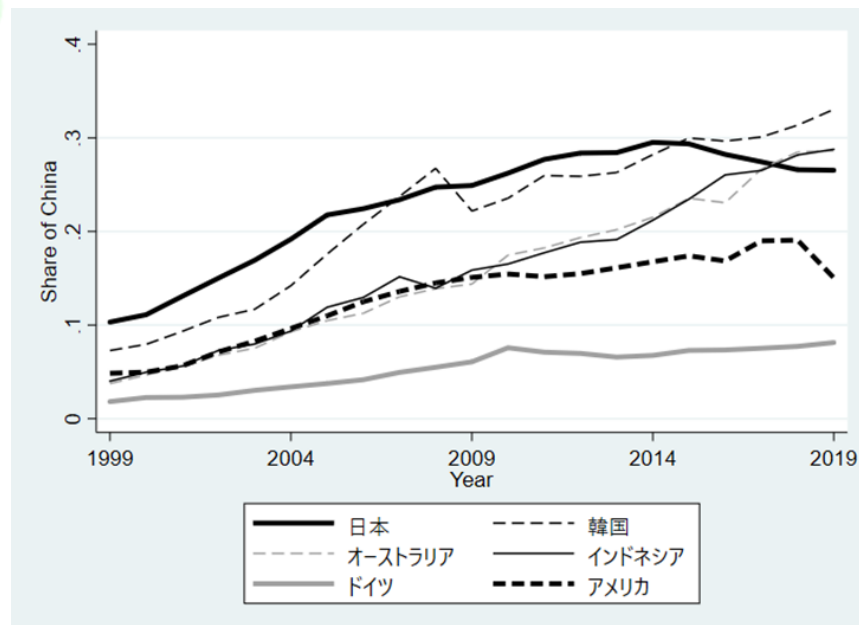
【ポイント】

- ▶ 米中の分断下で、サプライチェーンにおける中国依存に伴う様々なリスクが高まっていることを踏まえて、日本企業は東南アジア諸国連合（ASEAN）後発国、南アジア、アフリカなどを含めた多様な地域に強靱なサプライチェーンを構築すべきだ。
- ▶ 研究開発などの分野でも米中の分断が進行していることを踏まえて、日本企業は米欧豪台などの技術先進国・地域との多様な知的連携を推進すべきだ。
- ▶ 中国と一定の経済関係を継続するために、日本政府は経済と安全保障とを切り分けるための国際ルールを形成するよう努めるべきだ。
- ▶ 以上の3点において、政府の支援および国際的枠組みの活用が不可欠だ。



注目データ

主要国の部品輸入に占める中国のシェアの推移



資料：UN Comtrade